

# 金子耕式のファミリートーク

北海道・東北・沖縄県にて好評放送中!! **その20**



## ■愛というビタミン

子育てに愛情が不可欠であることは、誰もが認めるところですが、乳幼児にとっては、愛情が命に関わるほど重要なものであることを、どれだけの人がご存知でしょうか。

第二次世界大戦が終わった時、無条件降伏したドイツの中心地ベルリンには、アメリカ軍、ソ連軍、そしてイギリス・オーストラリア・ニュージージーランドの合同軍が入って来て、占領政策を開始しました。この時、廃墟となった町の中で、親を失った多くの乳幼児が発見されたため、それぞれの軍が別々の方法で子どもたちの育児活動に取り組むことになりました。

当時、経済的に非常に豊かであったアメリカ軍は、まず乳児のための大きな簡易施設を作り、横一列にずらりと並べたベビーベッドに沢山の赤ちゃんを寝かせ、時間が来るごとにミルクを与えたりオムツを替えたりしました。

しかし、イギリス・オーストラリア・ニュージージーランドの合同軍は、育児施設を建てるだけの経済的な余裕がなかったため、どうすべきか考えた末に、地元のお百姓さんたちに、僅かばかりの養育費を渡して赤ちゃんを託したのです。

さて、しばらくすると、栄養面でも衛生面でも行き届いていたはずのアメリカ軍の育児施設で、とても悲惨な事件が起こりました。なんと4割以上の赤ちゃんが、やせ細って次々に死んでいったのです。

一方、貧しい農家のお百姓さんに引き取られた子どもたちは、何の問題もなく成長していきましました。一体何が、赤ちゃんたちの運命を左右したのでしょうか。それは、まさに愛情の有る無しでした。貧しい中

も、愛情を持って抱っこしたり、あやしたり、話しかけたりしてくれる存在がいてくれたことで、農家に預けられた子どもたちは無事に育つことが出来たのです。

子どもたちは、食べ物があっても愛情がなければ生きていくことが出来ず、やせ細って死んでしまうのです。現代の医学用語では、これを消耗症と言うそうですが、子どもたちにはまさに愛というビタミンが不可欠なのです。

## ■子育てに必要な3つのR

子育てに必要な3つのRについてお話ししましょう。

こんな言い方をすると、まるで結婚式のスピーチのようですが、子育てに必要な3つのRとは、戦前のイギリスでよく使われた表現です。それが、いままた注目されているというのです。つまり、良い子育てをしたければRで始まる次の3つの言葉を子育ての土台に据えなさいということなのです。

まず最初のRは、**Respect**「尊敬」です。人生を歩き始めたばかりの何事にも未熟な子どもに、大先輩である自分の親を「尊敬させ、従わせる」ことです。

2番目のRは、**Responsibility**「責任」をとらせることです。

自分のすることには必ず結果が伴います。が、幼い子どもたちにも、自分のしたこと責任をできるかぎり自分でとらせなさいということなのです。例えば、もらったお小遣いをその日のうちに使ってしまった子どもが、翌日になって、「ねえ、お母さん。買いたいものがあるから、お金ちょうだい」と言ってきたら、その要求に応じてはいけないということなのです。お小遣いを、たった1日で無計画に使ってしまった責任は、自分

ととらせることです。つまり、この場合は、次のお小遣いの日まで我慢させることです。

3つ目のRは、**Resourcefulness**「臨機応変さ」ということですが、これは、どんなことが起きててもその時々に応じて対処できる力を身につけさせるということなのです。

もしも、日頃から親が何でも子どもに代わってやってあげていたら、この能力は身に付かないでしょう。

だから、親がやり方を教えながら、子どもにできることは何でもやらせることです。失敗してもいいのです。ぎこちなくてもいいのです。やっているうちに上達するし、そこから未知のことに対処する能力が育っていくからです。

以上、子育てに必要な3つのRは、「親を尊敬させ、自分のすることに責任を持たせ、親の指導の元でなんでもやらせて、自分で解決する能力を身につけさせる」ということです。

今の時代の子育てには、特に重要な要素だとと言えるでしょう。

大好評発売中

### 「いま子育てに必要なこと」

四六判並製本  
229P 中西出版  
●定価 1,365円



### 「家族に贈るとっておきの話」Vol.1～3



四六判変形上製本  
Vol.1: 151P  
Vol.2: 148P  
Vol.3: 149P  
●定価(各) 1,575円

ラジオ番組「金子耕式のファミリートーク」を編集したコラム集。FFJのスタッフで元アナウンサーの金子耕式が自らの子育て経験を交え、日本の現状とニーズに合わせたショートメッセージをお届けします。